

別紙回答44

G H P エ ア コ ン 点 検 表									
施設名称 岡山ドーム			点検日 令和2年11月30日		No. 34-1		フロン類充填回収業者登録番号		
住 所 岡山市北区北長瀬表町1丁目1-1									
系統名称等		型式・製造番号							
MO-1		型		YNZP280K1NB					
事務所・会議室・放送室		製番		OANT3324N					
			点検者						
2015年4月1日施行のフロン排出抑制法に基づく記録（漏洩定期点検の間接法に準拠）									
設置年月日	出力(kw)	漏洩点検頻度	冷媒名	封入量(Kg)	初期追加(kg)	回収量(kg)	整備追加(kg)	担当者	フロン類取扱技術者番号
2020.9.10	6.2	-	R410A	12.3	8.2				第 号
点 検 項 目				判 定	運 転 デ ー タ 測 定 項 目			測 定 値	単 位
エンジンオイルの漏れ及び状態				○	エンジン運転時間			1191	時間
冷却水の漏れ及び状態				○	冷媒高圧圧力			2.253	Mpa
排気ガス漏れ及び状態				○	冷媒低圧圧力			0.539	Mpa
燃料系の漏れ及び状態				○	吐出温度1			81.9	℃
圧縮機の異音及び油漏れの状態				○	吐出温度2			78.4	℃
冷媒、冷凍機油の漏れ及び油のにじみの状態				○	吸入温度1			13.6	℃
運転時の異常音及び振動の有無				○	吸入温度2			9.4	℃
室外機熱交換器汚れ・腐食・錆傷・油のにじみ				○	オイル温度1			68.0	℃
室外機熱交換器霜付きの状態				○	オイル温度2			68.6	℃
定 期 交 換 部 品 他				判 定	E V 1			72	℃
エンジンオイル				—	E V 2			5	℃
オイルフィルター				—	E V 4			46	℃
点火プラグ				—	E V 5			55	℃
コンプレッサーベルト				—	冷却水温度			63.3	℃
エアークリーナーエレメント				—	外気温度			10.3	℃
ドレンオイルフィルター				—	エンジン回転数			1191	rpm
バルブクリーナー				—	スターター発停回数			9980	回
					メンテナンス後運転時間			—	時間
室 内 機				室 内 ユ ニ ッ ト 運 転 デ ー タ					
アドレス	機 種	設置場所	容 量 kW	運 転 モ ー ド 冷・暖	設 定 (℃)	吸 込 温 (℃)	液 管 温 (℃)	ガ ス 管 温 (℃)	膨 張 弁 (STEP)
	2方向天カセ	放送室	4.5	暖房	28	28	39	51	200
	"	岡山市事務所	7.1	"	26	24	40	51	400
	"	事務所	8.0	"	27	25	40	56	550
親	"	管理事務所	7.1	"	26	24	40	59	628
備考 ○・・・良好 ×・・・不良 △・・・要処置（運転可能） A・・・調整、清掃、修理 C・・・交換 —・・・対象外									
暖房点検良好									
間接法診断による漏洩点検結果			漏洩の疑いは有りません。						
			漏洩あり又は、その疑いがあります。（漏洩箇所又は、その判断理由は上記に記入）						
（注意）当点検表をフロン排出抑制法に係る漏洩点検整備記録簿としてご使用の場合は、機器の廃棄まで保管が必要です。又譲渡の場合は添付が必要									

G H P エ ア コ ン 点 検 表

施設名称 岡山ドーム	点検日 令和2年11月30日	No. 34 -2	フロン類充填回収業者登録番号			
住所 岡山市北区北長瀬表町1丁目1-1	点検者					
系統名称等 MO-2				型式・製造番号 YNZP355K1NB		
ロッカー・更衣室				製番 OANU2935N		

2015年4月1日施行のフロン排出抑制法に基づく記録（漏洩定期点検の間接法に準拠）

設置年月日	出力(kw)	漏洩点検頻度	冷媒名	封入量(Kg)	初期追加(kg)	回収量(kg)	整備追加(kg)	担当者	フロン類取扱技術者番号
2020.9.10	7.9	3年に1回以上	R410A	13.1	4.7			吉原	第 1-14-2-0215017 号

点検項目	判定	運転データ測定項目	測定値	単位
エンジンオイルの漏れ及び状態	○	エンジン運転時間	326	時間
冷却水の漏れ及び状態	○	冷媒高圧圧力	2.597	Mpa
排気ガス漏れ及び状態	○	冷媒低圧圧力	0.666	Mpa
燃料系の漏れ及び状態	○	吐出温度1	74.4	°C
圧縮機の異音及び油漏れの状態	○	吐出温度2	73.8	°C
冷媒、冷凍機油の漏れ及び油のにじみの状態	○	吸入温度1	9.7	°C
運転時の異常音及び振動の有無	○	吸入温度2	12.3	°C
室外機熱交換器汚れ・腐食・錆傷・油のにじみ	○	オイル温度1	30.2	°C
室外機熱交換器霜付きの状態	○	オイル温度2	30.7	°C
定期交換部品他	判定	E V 1	149	°C
エンジンオイル	—	E V 2	5	°C
オイルフィルター	—	E V 4	59	°C
点火プラグ	—	E V 5	58	°C
コンプレッサーベルト	—	冷却水温度	63.3	°C
エアークリーナーエレメント	—	外気温度	9.8	°C
ドレンオイルフィルター	—	エンジン回転数	1254	rpm
バルブクリーナー	—	スターター発停回数	1281	回
		メンテナンス後運転時間	—	時間

室内機			室内ユニット運転データ						
アドレス	機種	設置場所	容量 kW	運転モード 冷・暖	設定 (°C)	吸込温 (°C)	液管温 (°C)	ガス管温 (°C)	膨張弁 (STEP)
	親	2方向天カセ	3.6	暖房	28	27	38	60	879
	"	職員ロッカー室	14.0	"	26	26	36	60	764
	"	更衣室(男子)	14.0	"	24	28	37	61	602

備考 ○・・・良好 ×・・・不良 △・・・要処置(運転可能) A・・・調整、清掃、修理 C・・・交換 —・・・対象外

暖房点検良好

間接法診断による漏洩点検結果	㊟ 漏洩の疑いは有りません。 ㊞ 漏洩あり又は、その疑いがあります。(漏洩箇所又は、その判断理由は上記に記入)
(注意) 当点検表をフロン排出抑制法に係る漏洩点検整備記録簿としてご使用の場合は、機器の廃棄まで保管が必要です。又譲渡の場合は添付が必要	

ガスヒートポンプエアコン保守点検

室外機

外観点検



室外機

基礎・固定部点検



室外機

ファン・ファンモーター点検





ガスヒートポンプエアコン保守点検

室外機

排気トップ点検



室外機

排気ドレン点検



室外機

熱交換器フィン点検

ガスヒートポンプエアコン保守点検

室外機

エンジンオイル点検



室外機

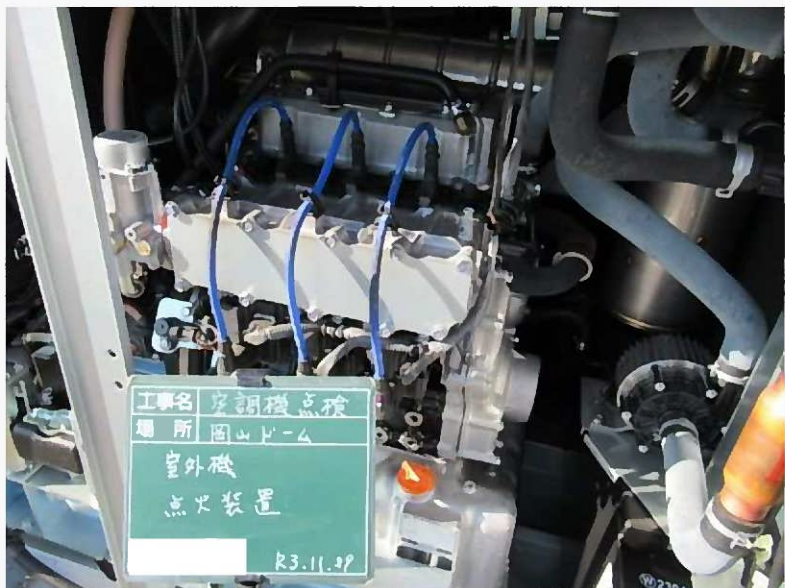
エアエレメント、

点火プラグ点検清掃



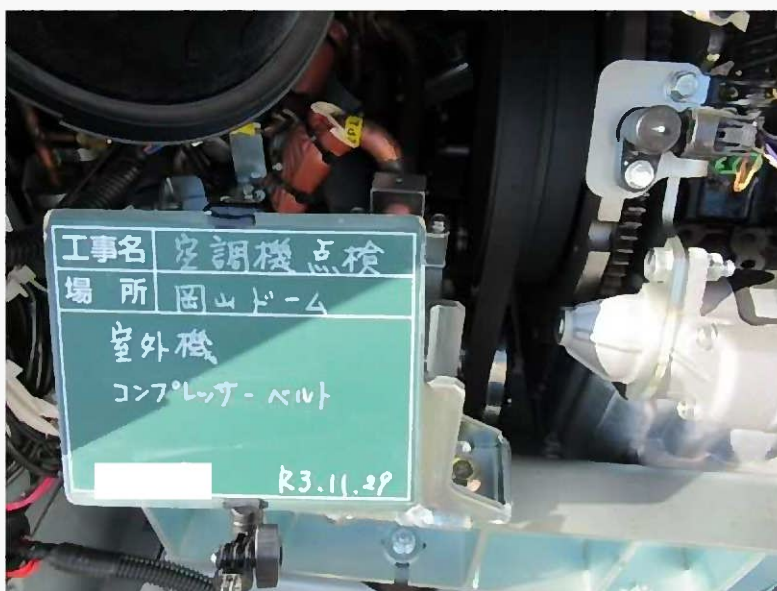
室外機

点火装置点検





ガスヒートポンプエアコン保守点検
 室外機
 圧縮機点検



室外機
 圧縮機ベルト点検



室外機
 冷媒配管点検

ガスヒートポンプエアコン保守点検

室外機

冷却水ポンプ点検



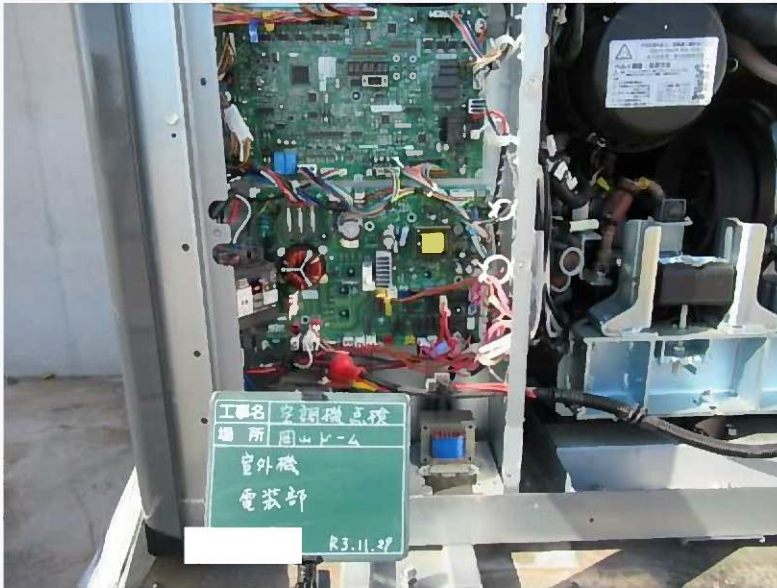
室外機

冷却水レベル点検



試運転

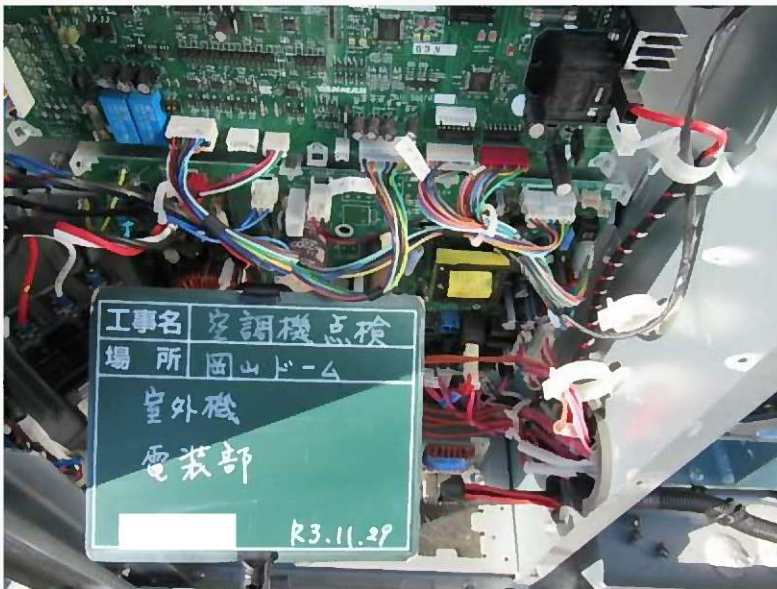




ガスヒートポンプエアコン保守点検

室外機 (MO-1系統)

電装部点検



室外機 (MO-2系統)

電装部点検



試運転

MO-1系統 室内機

(放送室)

外觀・異音・運転確認



(事務所)

外觀・異音・運転確認



(管理事務室)

吐出温度測定





MO-2系統 室内機

(職員ロッカー室)
外観・異音・運転確認



(男子更衣室)
吐出温度測定



(女子更衣室)
吐出温度測定

ファン点検表

名 称	BF-1-1 ブースターファン	BF-1-2 ブースターファン	/	/
-----	--------------------	--------------------	---	---

仕 様	型 式	DPAC-370	DPAC-370		
	製造番号	202022-OS	202023-OS		
	風 量 (m ³ /min)	60	60		
	静 圧 (Pa)	1600	1600		
	モーター容量 (kW)	3.7	3.7		
	Vベルト型式×本数	/	/		

点 検 項 目	本体及び外観機能	○	○		
	振動及び運転音	○	○		
	ダンパー類	○	○		
	プーリー・軸受	○	○		
	Vベルト磨耗状態	/	/		
	ファン(フィン)	○	○		
	電 動 機	○	○		
	NFB及びMCTT類	○	○		
	運転電圧 (V)	210	210		
	運転電流 (A)	10.30	10.85		
	絶縁抵抗値 (MΩ)	100↗	100↗		

【 備 考 】

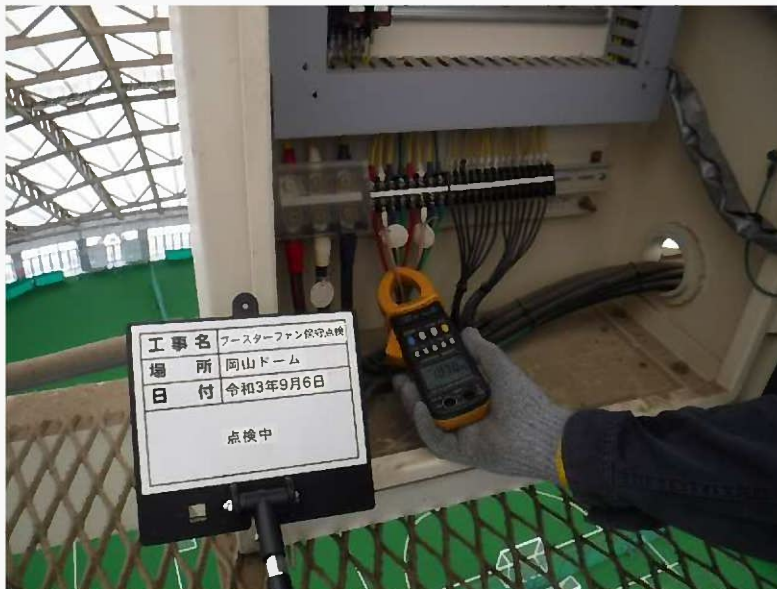
異状なし

点検結果記号 ○正常 ×異状 □処理済 △修理交換要 /該当無し

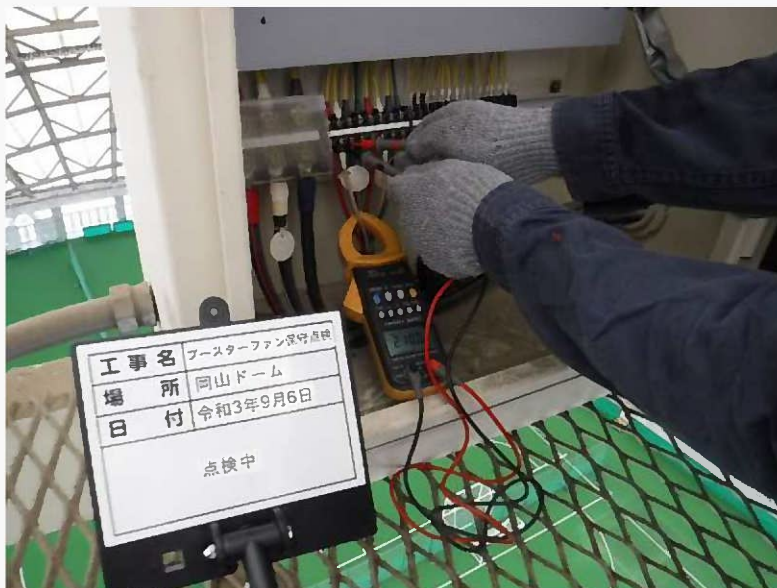


ブースターファン保守点検

絶縁抵抗測定



運転電流測定



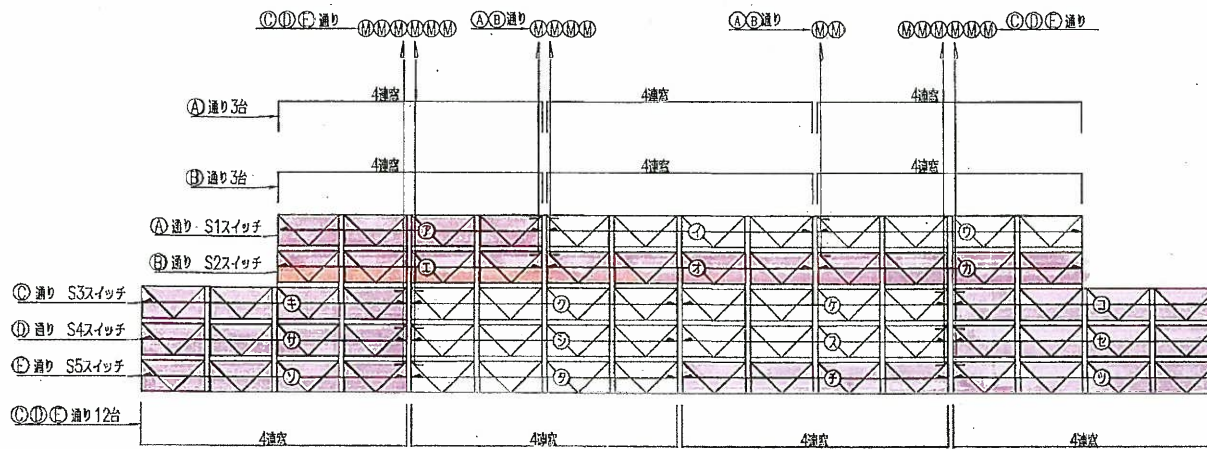
運転電圧測定

岡山ドーム ACW-1 電動式オペレーターシステム保守点検業務
 (MD-WEM型 内倒し窓 4連窓 18台)

※ (M) 電動駆動装置 (モーター) はキャットウォークに設置

※ スイッチ及び電源線は1階管理事務所に設置しスイッチは電気の壁に収納

(姿図)



業務は目視での 開閉作動確認後 モーター(キャットウォーク設置)・スイッチ等、手元での対応可能部分の
 点検調整